

平成２９年度行政事業レビューシート（厚生労働省）											
事業名	国民健康保険制度関係業務事業費補助金				担当部局庁	保険局			作成責任者		
事業開始年度	平成３０年度	事業終了 （予定）年度	終了予定なし		担当課室	国民健康保険課			鳥井 陽一		
会計区分	一般会計										
根拠法令 （具体的な 条項も記載）	国民健康保険法 第74条				関係する計画、 通知等	-					
主要政策・施策	高齢社会対策				主要経費	社会保障					
事業の目的 （目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内）	持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律（平成27年法律第31号）の成立に伴い、平成30年度以降、都道府県は当該都道府県内の市町村とともに国民健康保険事務を行うことから、国保保険者標準事務処理システム（都道府県及び市町村が行う国民健康保険事務の効率的な執行等を支援するための標準的な電算処理システム）の機能改善・運用保守等に要する経費を確保し、制度の健全な事業運営に資することを目的とする。										
事業概要 （5行程度以内。 別添可）	国保保険者標準事務処理システムの機能改善・運用保守等に係る以下の経費を補助する。 ・国保保険者標準事務処理システムの機能改善・運用保守に要する経費 ・市町村事務処理標準システムの導入推進、クラウド化推進体制の構築支援に要する経費 等 なお、市町村事務処理標準システムの導入やクラウド化の推進にあたっては、都道府県と国民健康保険団体連合会のいずれか又は双方が推進体制を構築するケースが考えられるが、地方の実情に応じて、いずれの場合でも支援できる仕組みとすることを検討。										
実施方法	補助										
予算額・ 執行額 （単位：百万円）			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求				
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	0	5,802				
		補正予算	-	-	-	-					
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-					
		予備費等	-	-	-	-					
	計		0	0	0	0	5,802				
	執行額		0	0	0						
	執行率（％）		-	-	-						
	当初予算＋補正予算に対する執行額の割合（％）		-	-	-						
平成29・30年度 予算内訳 （単位：百万円）	歳出予算目		29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由						
	国民健康保険制度関係業務事業費補助金		0	5,802	-						
	その他		0	0							
	計		0	5,802							
成果目標及び 成果実績 （アウトカム）	定量的な成果目標		成果指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 年度	目標最終年度 30 年度
	全ての都道府県において、平成30年度の改正後の国民健康保険制度における事務処理が円滑に実施されること		国保事業費納付金等算定標準システムを使用して、支障なく国保事業費納付金及び標準保険料率の算定を行うことができた都道府県数		成果実績	箇所数	-	-	-	-	-
					目標値	箇所数	-	-	-	-	47
					達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 （出典）	都道府県数										
成果目標及び 成果実績 （アウトカム）	定量的な成果目標		成果指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 年度	目標最終年度 30 年度
	全ての市町村において、平成30年度の改正後の国民健康保険制度における事務処理が円滑に実施されること		国保情報集約システムを使用して、支障なく市町村間の連携を要する資格・給付業務を行うことができた市町村数		成果実績	箇所数	-	-	-	-	-
					目標値	箇所数	-	-	-	-	1,736
					達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 （出典）	市町村数										

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)			定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標	目標最終年度	
			市町村が行う国民健康保険事務処理の標準化が図られること	市町村事務処理標準システムの導入により標準化を図る市町村数		35	年度		年度			
						成果実績	箇所数	-	-	-	-	-
						目標値	箇所数	-	-	-	530	-
達成度	%	-	-	-	-	-	-					
根拠として用いた統計・データ名 (出典)			市町村事務処理標準システムに係る導入の意向に関する調査(平成28年8月24日)									
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)			活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込		
			都道府県・市町村等との協議等により国保保険者標準事務処理システムの機能改善等が必要とされた案件、運用保守及び事務処理に係る照会への対応割合		活動実績	%	-	-	-	-	-	
					当初見込み	%	-	-	-	-	-	100
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)			活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込		
			市町村事務処理標準システムの導入推進の支援を行う国民健康保険団体連合会等数		活動実績	箇所数	-	-	-	-	-	
					当初見込み	箇所数	-	-	-	-	-	未定
単位当たり コスト			算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込			
			単位当たりコスト(国民健康保険中央会への補助額) ＝ X(補助額)／ Y(国保中央会数)		単位当たり コスト	百万円	-	-	-	-	3,975	
					計算式	X / Y	-	-	-	-	3,975 / 1	
単位当たり コスト			算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込			
			単位当たりコスト(国民健康保険団体連合会等への補助額) ＝ X(補助額)／ Y(実施国保連合会等数)		単位当たり コスト	百万円	-	-	-	-	未定	
					計算式	X / Y	-	-	-	-	1,827 / 未定	
政策評価、 経済・財政再生 アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策	基本目標Ⅰ：安心・信頼してかけられる医療の確保と国民の健康づくりを推進すること 施策大目標9：全国民に必要な医療を保障できる安定的・効率的な医療保険制度を構築すること									
		施策	データヘルスの推進による保険者機能の強化等により適切かつ安定的・効率的な医療保険制度を構築すること(Ⅰ-9-1)									
		測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標	目標年度		
			-		年度	-	年度					
			実績値		-	-	-	-	-	-		
		目標値	-	-	-	-	-	-				
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	都道府県及び市町村等が行う国民健康保険事務の効率的な執行等を支援するため、システム改善等に要する経費に対して補助を実施している。 もって保険者への国庫補助を通じて医療保険の安定的運営に寄与している。											
	経済・財政再生 アクション・プログラム	改革項目	分野：	-	-							
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時	28年度	29年度	中間目標	目標最終年度		
-			-		年度	-	年度	-	年度			
成果実績			-		-	-	-	-	-			
目標値			-		-	-	-	-	-			
達成度		%	-	-	-	-	-	-				
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)		単位	計画開始時	28年度	29年度	中間目標	目標最終年度			
		-		-	年度	-	年度	-	年度			
	成果実績	-		-	-	-	-	-				
	目標値	-		-	-	-	-	-				
達成度	%	-	-	-	-	-	-					
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係												
-												

事業所管部局による点検・改善						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	国民健康保険事業の円滑な実施・効率的な運営につながるものであり、広く国民のニーズがあり、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	国民健康保険事業の円滑な実施・効率的な運営を期すため、国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	国民健康保険事業の円滑な実施・効率的な運営を確保するために必要な事業であり、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			-	-	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約（企画競争）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			無		
	競争性のない随意契約となったものはないか。			無		
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			-	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			-	-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			-	-	
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			-	-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			-	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			-	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			-	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			-		
	所管府省名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	-				
	改善の方向性	-				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
		事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-	
平成28年度	-					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

(平成30年度予定)

厚生労働省
5,802百万円

〔補助金を交付〕

【補助金等交付】
A. 都道府県

【補助金等交付】
B. 国民健康保険団体連合会

【補助金等交付】
C. 国民健康保険中央会

費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	-	-	-	-		-	-	-

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	-	-		-	-	-